

平成 29 年 2 月 9 日 00312 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】 北見市柔道協会選手強化講習会が2日間開催されました！



1月28日(土)29日(日)北見市柔道協会(西尾静男会長)主催「北見市柔道協会選手強化講習会」が北見市武道館で開催されました。小中高生や社会人が市内外から約150名が参加しました。1日目は午後3時から札幌柔道連盟副理事長の大川原洋氏(八段)道警機動隊所属の本保孝人氏(五段)工藤大器氏(三段)を講師に迎え行いました。大川原氏は「両親や先生への感謝を忘れることなく、

反復して基本の形を覚えるように」と実技を交えて話しました。子供たちは3人の講師から直接指導を受け熱心に基本を学び、遊びを交えた強化トレーニングも楽しく行いました。

柏崎克彦先生を迎えての柔道教室を開催！

1月29日(日)午前9時30分国際武道大学の柏崎克彦教授が講道館柔道の歴史や創始者嘉納治五郎師範と東京オリンピック開催に至る逸話を紹介するなど貴重な講話で2日目の強化講習会が始まりました。実技では、柏崎氏が投げ技で最も得意とする捨身技を子供たちの前で実践し「抑え込み」や「絞め技」の入り方の指導を行いました。柏崎氏は1981年マーストリヒト世界柔道選手権大会65kg級優勝者と共に1980年日本が不参加をしたモスクワオリンピックの代表選手でした。北海道では初となる講習会で、寝技のスペシャリストが巴投げや固め技を披露し参加者の目を釘付けにしました。解説で柏崎氏は「白帯だって自分の技を作ることはできる。技を研究し自分で考え楽しく柔道が出来れば世界チャンピオンになれるかもしれません」と力強く子供たちを勇気づけました。



65kg級優勝者と共に1980年日本が不参加をしたモスクワオリンピックの代表選手でした。北海道では初となる講習会で、寝技のスペシャリストが巴投げや固め技を披露し参加者の目を釘付けにしました。解説で柏崎氏は「白帯だって自分の技を作ることはできる。技を研究し自分で考え楽しく柔道が出来れば世界チャンピオンになれるかもしれません」と力強く子供たちを勇気づけました。

連載「武道宝鑑」第8弾 柔道秘訣1 柔道範士八段 飯塚國三郎 背負投の妙味

背負投の妙味-5 この原理は右でやる場合も左でやる場合も同じであって、相手方の体、即ち重心を体の前の方に移動させて、その体の崩れるところを利用して落とすという訳である。古人が坂落とし、岩石落としという名前を付けたように、石を坂から落とすような調子で、落とす瞬間はそれほど早くないが、落ち始めたらずに早い。相手が自然体にあつて、力が自由に使えるとき、例えば後ろへ退けば後ろへ来、一尺下がれば一尺下がり、右に行けば相手も右に来る、つまり相手が自分に順応して来る場合には業はかからない。なんとならば体が平均しているからである。そういう場合には相手を硬直させる必要がある。今まで一尺下がってあったところを一尺五寸下がり・・・つづく